

ようこそ！国労へ 田中久美さんが新加入！！



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山 芳夫
編集者 清水 孝次

2008年4月15日
第1452号



田中久美さんを囲んでの大歓迎会

●国労加入を
大胆に訴えよう！

大歓迎！田中久美さん

四月一日、国労に田中久美さん（上諏訪駅・平成採用）が新加入した。

決してエイプリルフールではない。昨年九月に国労への復帰を決意した五味さん、吉沢さんに続き三人目の組織拡大となった。

昨年の東労組分裂、JR労組結成等によるゴタゴタの中、安全で安心して働ける職場づくりに向け職場で闘い続けてきた国労組合員一人ひとりの成果が田中さんの国労加入へとつながったと言える。

私たちは、田中さんの勇氣ある選択を歓迎する。そして、これからも仲間を守

り働きやすい職場づくりに全力をあげていく。

盛大に！ 歓迎会開催

六日には、諏訪運輸分会主催の歓迎会が開催され、本部から濱中書記長、東日本本部から伊藤委員長、高野書記長、地本からは佐藤書記長が激励に駆けつけ盛大に行なわれた。

本部濱中書記長から「中央委員会以降九名の拡大である。平成採の女性の加入は、国労にとって勇気とインパクトをあたえるものがあり、心より歓迎する。これからの組織拡大に全力をあげよう」とのあいさつをいただいた。

（田中さんのコメント）

「ありがとうございます。ホントにこんなに歓迎されて恐縮です。これから少しでも力になればと思います。これからもよろしくお願いします」

組織拡大に全力を！

今回の組織拡大を契機に、各分会は勇気を持って組織拡大に立ち上がる。とりわけ新入社員が配属される関係分会は国労加入を大胆に呼びかけ、昨年を上回る新採加入を勝ち取る。同時に、エルダー社員を含めた国労復帰、新加入の獲得に向け組織あげて全力で取り組んで行こう。

JR貨物会社と「和解」成立

不採用問題に組織の全力を！

国労本部は3月27日、貨物係争事件についてJR貨物会社と和解を結んだ。（詳細は4月1日付『地本組織部ニュース』の「国労声明」他を参照）

これは貨物会社が発足当時、一企業一組合を提唱していたが事実上困難になったものである。JR東日本では、すでに和解が成立し少しずつではあるが職場が変わりつつある。また、東日本では、この和解が国労組合員に実感できるよう職場でのアンケートを実施するなかで、職場実態をもう一度正確に把握し「是正・改善」を図って団体交渉に押し上げ、要求の実現に向けていく闘いが展開されている。

貨物の仲間も、この和解から会社と差別のない土俵のうえで、「安全・安定輸送」の確立とわれわれの要求時実現のため運動を進めなければならない。

また、この和解により「JR不採用問題」がクローズアップされてくる。それは、この貨物和解で国労が争ってきたJR各社との事件がほぼ解決されたからである。

残された課題はまさに「JR不採用問題」に絞られたわけだ。国労はこの最大の課題を組織の全力をあげて闘う。

紋別・美幌現地激励行動

三月一日から三日にかけて、県支援共闘会議と国労長野地本の役員など十三名で美幌・紋別両闘争団を訪れ、六年に亘る空白期間を埋めるべく現地の闘争団員の仲間との交流会を開催した。

【6年半の空白を埋めるべく・・・】

県支援共闘より、高橋議長、喜多事務局長を含め地区役員合わせて十名、長野地本からは平山委員長、佐藤書記長、吉田前本部長、長計十三名の交流団で現地激励を行なった。

から徐々に動き出しはいたが、実際は、昨年十一月二十九日に東京において、「双方の思いは言い出せばキリがないが、過去にこだわるのではなく、今後を見据

【1日目：美幌闘争団との懇談】

迎える事、二〇〇二年二月の支援凍結から、実に六年ぶりである。この間、関係修復にむけて、一昨年五月

女満別空港では、長縄団長の山岡さん（運転を担当）の出

自己紹介後、団の実情、この間の思いなど出し合った。なかなか本心から言えない事もあるなか「一番大変な時の支援凍結は、きつかった」「大変な時だからこそ、率直な意見も出された。

国労美幌闘争団との懇談



は、長縄団長、山岡、北中、木目沢の各人が参加。双方

再開で徐々に心の整理をしていく」など、実際に顔を見て話ができる状況になったことはやはり、大きな前進であったと感じた。

【2日目：紋別闘争団との懇談】

前日とはうって変わり、青空がのぞく。路面の雪も解けるほど気温が上昇してきた。美幌峠、屈斜路湖など見学しながら、紋別へ移動となる。

サロマ湖を過ぎた「道の駅」で美幌闘争団から紋別闘争団へ引継ぎ、清野団長、松田団員、大野団員（運転を担当）が同行する。

紋別闘争団事務所にて、懇談会を開催する。闘争団からは、清野団長、渋谷団員、大野団員、松田団員が参加。「解決金だけでは解決後の生活が困難。雇用、年金を含めた解決を」との

「当事者の中で激論はあっても、今の四者四団体の枠組みにはその心配はない」などの話が出された。闘争団、支援共闘双方の思いの溝も埋まりつつあることを実感した。夕食交流会では、須藤さんの奥さん、渋谷さんの奥さんも会葬の御礼に駆けつけていただいた。また、清野団長の奥さん、大野さんの奥さんも交えるなか六年間の空白を埋めるべく、時間の許す限り語り合うことができた。

国労紋別闘争団との交流会



前日にも増してよい天気となる。一旦沖へ戻ってしまった流氷が、長野と闘争団の支援再開を歓迎するかの

【おわりに】 J R不採用事件も、二十二年目を迎える。今回両闘争団と何年かぶりに顔を合わせた団員もいる。お互いに年を重ね、それなりの顔つき、体型になっている。現在、一〇四七名の被解雇者全体で、四十七名が他界している。そのうち、四十名が国労闘争団である。そのほかに、病気の団員も少なくない。現に、三浦さん須藤さんが亡くなり、菅原さん、北

中さんが体調を崩している。解決が一日延びることに、団員、家族の負担が増していくことも事実である。三闘争団（札幌・釧路・函館）への具体的支援をおこなってきたが、三闘争団へもしっかり説明責任をはたし、基本の支援体制に戻していくこととする。家庭・家族を支え、生活し闘争を続けるには、支援が必要である。改めて、現地へ行ってみたいと感じた。「雇用・年金・解決金」の基本要求を実現させ、一日も早い解決を図るためにも、この六年間の空白を埋めるべく、紋別・美幌両闘争団の支援をスタートさせていく決意である。（書記長 佐藤正幸）

春闘妥結状況

J R東日本は、「定期昇給後の基準内賃金の改善分原資930円」(55歳未満)。55歳以上は基本給に一律900円上積み。	J R東日本	J R貨物
J R貨物は、9年連続の「ベア・ゼロ」。55歳以上の賃金改善1,300円の加算。	社員数	7,111人
	平均年齢	41.1歳
	基準内賃金	275,495円
	ベア額	0円
	ベア・定昇込	5,406円

◆退職の際は、鉄道退職者の会への加入を！◆
 ◎鉄道退職者の会 長野地方連合会 電話 026-226-6658

◆交運共済からのお知らせ◆ 7月期任意共済の増口を！
 ◎全国交運共済生協 長野事業部
 電話 026-291-5057 JR:067-2583